

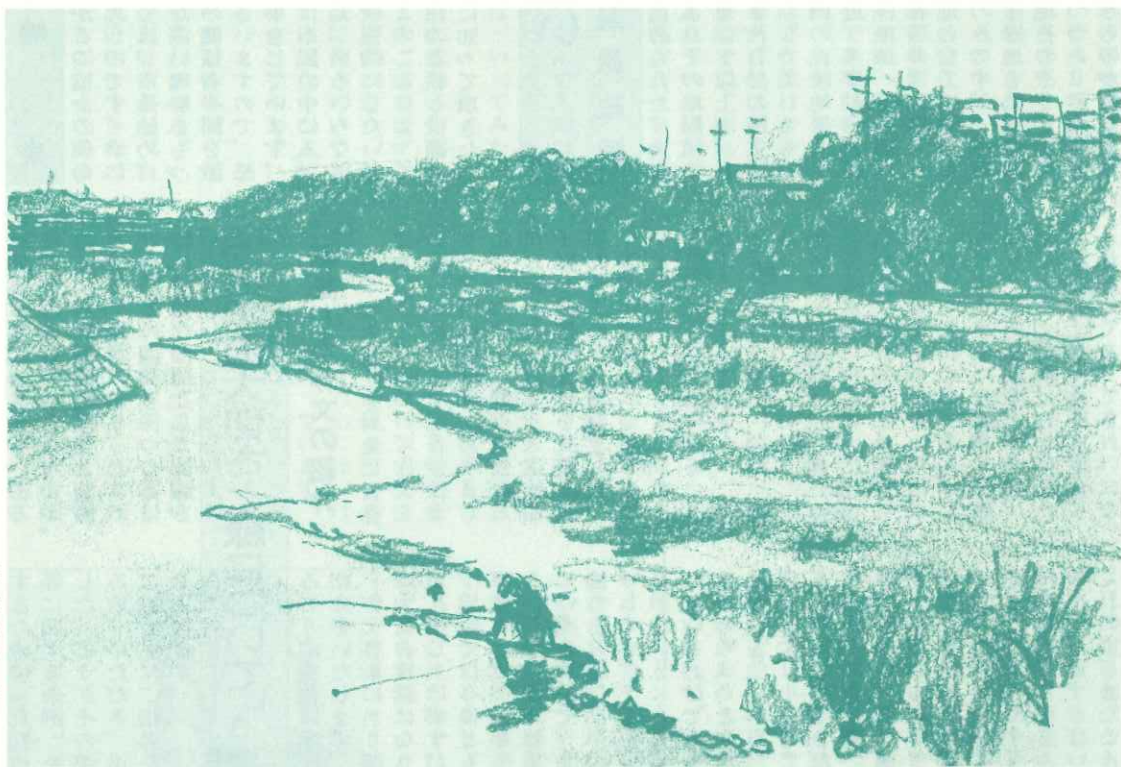


# 緑のまち

第4号 平成元年10月20日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191 東京都日野市神明1-12-1 日野市役所内  
電話 0425(85)1111 内線265~7



さいかち堰遠望

## さいかち堰

副理事長 田中紀子

京王線長沼駅を出て左に折れ、長沼橋を渡り、更に左折して堤防沿いに少し歩くと上村用水のさいかち堰に出る。

樹齢四百年位のさいかちの大木が一本と小さなのが二、三本、ニセアカシアの木も三、四本見える。この堰は浅川左岸の平山地区の用水に取水するためのもので、昔は、この近くに水車場もあった。

さいかちの木は鋏かまや鎌かまの柄えにする**と強く折れないとか、育ちがよく堤防を強化するともいわれ、北條氏照の時代に浅川沿いに植えさせたともいわれている。**さいかち堰から更に上流の川北用水堰迄の間には、昔、七つの水車があった。八王子地区の精米を引き受けていたので、浅川の河岸段丘の途中に用水路を吊り（吊堰）水車のある所で水を落して利用したという。さいかちとニセアカシアの群落も今はなく、この堰に面影を残すばかりである。

緑は心のふるさと

(応募標語集より)

# 「日野市環境緑化協会の役割について」

理事長 萱 嶋 泉

(財)日野市環境緑化協会は、市民各位の理解ある協力と、市当局の温かい指導のもとに活発に仕事を行っています。しかしことある毎に、もっと市民との対話と、相互理解の必要性をいまだに感じます。日野市は都内の他の都市にくらべて緑が多いと言われます。これは市民の暖かい協力の賜と思います。この大切な緑をどのように保存したらよいかを真剣に市民と話し合うことが大切だと思います。その音

## 「緑地保全について」お願い

公園緑政課

謹啓時下増々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素、市の緑化活動につきましては、格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、かつて日野市は緑が豊かな、水の流れの美しい街でした。それは多摩丘陵の雑木林と日野台地からなだらかに続く段丘崖の緑地、杜寺林、屋敷林によって形成される緑と、浅川を基幹にした川の流れと用水が一つの素材として、自然環境を作りあげてきました。しかし昭和三十年

最近の地価高騰は緑地の公有化にも影響がでておりなかなか計画どおりには進まないことは衆目の一致するところですが、都市における環境保全と整備は重要な課題であり、とりわけ自然との調和を保つことは特に重要な問題として認識さ

## 「自然の大切さと緑について」

募集した作文の紹介

小学校六年生を対象に自然の大切さと緑について作文をお願いしたところ、各学校より一六六編の応募がありました。市内の小学校の先生数人にお願ひしまして、入選作品十編と佳作十五編を長時間慎重な審査をへて選びました。入選作品十編については、

### 募集作文

#### 緑について

三沢台小学校 杉山 玉絵

「わあ、なってるなってる。」家の庭には木の実がいっぱい。「グミ」「くわの実」「あんず」「ゆすらうめ」「サクランボ」たくさんあります。木や花、草だって、名前はわからないけれどたくさんあります。手入れがしてあってきれいな

れています。そこで市では今般従来の緑地保全制度を補完するために、「日野市緑地信託等に関する条例」を制定しました。どうかその趣旨をおくみ取りいただき、市民各位のご協力並にご指導をお願い申し上げます。

みどりの会報に順次掲載して紹介をいたします。作文募集に当り関係先生方に大変お世話になりました。お礼申し上げます。

協会では今後とも緑化推進事業として、六年生を対象にこの事業(作文募集)を進めていきますので、よろしくご協力をお願いします。



っているわけでもないけれど、まるでちよつとした山のようにです。きつと、めいっっぱい広い家より小さくても緑のある庭の方がすてきだと思えます。庭があると春、夏、秋、冬と家の中から季節ごとちがう緑が見られてとてもいいです。春はやわらかい色の木の葉。夏は色がこく葉と葉がかさなりあつてすずしい木かげを作ってくれるぶどうの木。また、あますっぱいぶどうやくわの実。またこんな庭には、

いろいろな鳥が来ます。すずめなどが庭でないていると、とても気持ちがいいです。一目見るとどうでもないよな庭の緑が私達にとつて、とてもかんきょうをよくしてくるものなんだな、とつくづく思うのは、外出した時です。緑がなんにもないビルや道路を見ても「ああいいな」と思うことはありません。それになんだか落ちつきませ

でも、こんなふうに「緑はいいな」とか、「緑は気持ちがいい」などと言っているだけではいけないのですよね。自分が「いいな」と思う事は他の人にとつてもよい事なのです。お父さんやお母さんの作ってくれた「緑のたくさんある庭」を、自分で手入れをしたり、花のたねをまいたりして自分で「緑のたくさんある庭」を作つて、家族や、近所の人に見てもらふ事も大切だと思えます。そうする事によつてきつと、木の実を食べるだけのよろこびではなく木の実を作つたというよろこびもできると思えます。これからは、家の庭の緑を楽しむ人から緑を作っていく人に変わりたいと思います。そうしてしょうらい自分の子供達も、緑のたくさんある家に住まわせてあげたいです。

### 自然の大切さについて

南平小学校  
加々宮 慶子

私達の住む日野市は、都会といなかをくつつけた様な所で、とても住みよい所です。しかし、その日野市も一日一日変化してきています。

私の家の近くの空地は、だいたい一つの会社の私有地になっていて、近々、建物を建てる様です。

又、そういう事から、学校の工工の時間に雑草を書くのに、数年前にはあった所になくて、探すのにくろうした事がありました。それで結局、庭の草花にした人もいた様です。この自然がだんだん、失われている事は、各地である事だと思えます。

六年生になってから、自然と人間という題の単元を国語で勉強しました。その単元では、この作文の題のとおり「自然の大切さについて」「自然の動き」という事が書いてあり、自然の事をそれからよく考える様になりました。

又、作文の勉強で、自分の心配事を書いた事があります。私は、自然の事について、書いてみました。こういう事

よって、自然の事を深く考える様になり、昔の日野市と今の日野市の写真を見くらべてみると、さまざまな思いがこりました。その中でも、自然かんきょうの変化にびっくりさせられました。

(まだ、自然が残っているとはいえ、安心できないな)と思えました。

日本各地に、自然はかいがおこっています。私は、この言葉が、印象的です。それは森林や山があれといけば、やがて大きな災害が人々をおそ

う事になるでしょう。と言う言葉です。これを、思い出すが、なんで人間は自然をなくすのだろうと、私が大人であれば、いつてみたい

です。又、山が消えるという事がおこっています。山をけずって、うめたてに使ったり、いろいろな建設に使って、後十年もすればなくなる。という事をテレビでやっていました。

それは、おそろしい事だし、私にはしんじられません。私は自然が大好きだし、自然のもとに人は生きてきたので、人間が生きていくためには、自然は、かけがえのない大切な物で、又、それを大切にしていかなければならないと思えます。

### 自然と緑の町・日野

東光寺小学校  
橋本 泰徳

ぼくたち、東光寺小の六年は、七月七日から三日間、日光移動教室に行きました。日光には、すばらしい大自然がありました。例えば、うっそうとしげった杉林、戦場ヶ原のいろいろな花など……。日光と日野では地形がまるつき

りちがうので、日光と同じようにしろと言ってもできません。しかし「日野は緑が多い」と言われてますが、日光などの、大自然を見て来ると、ほんとに少ないのです。しかし、まだ日野の自然は、都心とちが

い、人間の力で取りもどせます。今、ぼくたちの通っている、東光寺小の、うら山には、けつこう自然が残っています。そこには夏になるとクワガタ虫やカブト虫、カナブン、トンボなどいっぱい虫がいます。しかし東光寺小の通学はんいでは自然がこわされつつあります。ぼくたちのよく遊ぶお寺も、前は林があつたと言

話です。あと、他にも、田畑がどんどんつぶされて、住宅になってきています。ぼくたちの裏は田んぼです。毎年

六月になると、かえるの合唱です。今はうるさいと思っ

は木や、動物にたよって生きていけるだけなのに……。日野じやないけど土しやくずれなども、人間が自然をこわした結果によっておこったものなのです。人間は開発のしすぎです。ぼくはそう思います。森林は人間の生活にとつてかけがえのない大切な物です。人間の吸う酸素も森林が出してくれるのです。日野の空気も悪くはないけれど、日光にくらべたら、ずいぶんと差があります。

自然はかいには、すごくひどいがあります。日野市ではないけれど、八王子市の、高尾山にトンネルをぶちぬくと言っているのです。そんなことをしたら、この高尾山に住んでいる動物や虫、それに植物たちはどうなるのでしょうか。トンネルは人間にはとても便利でしょう。しかし、この地上は人間だけの物ではないのです。どちらかといえば、人間

日野も、今は、まだ自然が残っていますが、これからはあまり自然をこわしてほしくないです。まだ日野にはあるけれど他の所ではなくなりつつある花、カタクリ。いつまでも、この日野に残しておきたいです。



市民の森スポーツ公園内のモニュメントを紹介しします。  
作者は日野市在住の岡本参千峯さんです。  
広さ：横幅4m 奥行7m  
高さ：台座高2m 像高3m  
材質：台座はミカゲ石。像はブロンズ。  
テーマは太陽に向って  
左・みどりの像は希望(Hope)  
中・よろこびの像は健康(Health)  
右・はばたきの像は平和(Peace)

### 自然の大切さについて

日野第七小学校  
山本 晋太郎

二年ぐらい前、お父さんに市民プールに連れて行ってもらった。帰り道、お父さんが「おもしろい所に、連れて行ってあげようか。突然いったおもしろ半分であつていってもらった。」

そこは、市民プールの近所で、森になっている所だ。「ここで、おもしろいものとれるんだって。」とお父さんはいった。「おもしろいものってなあに？」  
「ぼくが聞くと、  
「見ればわかるさ、晋太郎の大好きな物だよ」と教えてくれた。

「ぼくの大好きな物」  
「黒くて大きくて、かっこいい物だよ」  
「わかった」  
「ぼくの大好きで、黒くて、大きくて、かっこいいものって、かぶと虫でしょ」  
「あたり」  
「そうさ、それがここでよくとれるんだってさ」  
「ほんと」  
とぼくはいちもくさんに、森

へかけこんだ。

ぼくは、小さいころから虫が好きで、よくつかまえて遊んでいた。あまり熱中し過ぎて、道に迷ったこともあった。とりにいって、「やぶ蚊」にされたこともわすれられない。そんなことをよく経験してきたぼくにとつて森は、かけがえのない友達であつた。森は、虫たちの親のようなものだとぼくは思う。

それから一年が過ぎて、また、市民プールの帰りに場所についてみた。

「ない」「どこにもない」  
森がなかった。そこには、大きな建物と、駐車場ができあがっていた。森は、建物の下に消えてしまったのだ。ぼくは、声もなく立っていた。風によつて、木たちの泣き声でも聞こえてくるような気がした。

父に、「自然は、とても大切なものだよ」と教えてもらった。自然は、自然のダムだと知つた。自然は一年毎になくなりつつある。まだ日野市には残っている。つぎの世代にこの自然をのこすには、今、ぼくたちが、なにをするべきなのだろうか。虫などをはなすなど、それをもう一度ぼくは考え直したい。自分たちが大人になつたとき子どもたちにもう一度、日野市

の自然のうつくしさを見せてやりたいと思います。一人一人がもう一度かんがえ直せばまたきつと、自然は、返ってきてくれると信じています。

今も大人の人たちが、自然をとりかえすために、日野の各地で公園にホタルを放したりホテルのえきになるタニシを育てたりしています。ホタルがもつとたくさんになるまで、つかまえずに見守りたいです。



### みどりについて

南平小学校

田中 美千代

みどり。大都会でこんな風によべる場所がいくつあつたであろうか。

土の地面をコンクリートに変えていったように、木をほとんどきりたおし、むかし林があつた場所にはいつの間にか、大きなビルや家々がたちならびいつつからか、大都会とよばれるようになった。

東京都新宿区。東京の中でも、大都会の中の大都会。何十年前か前だつたら、子供は土や草等で遊んでいたはずだつた。

テレビで新宿の子供を中心にした番組をやつていた。

ある子供が、  
「コンクリートになつたからおだんごあそびができなくてつまらない。」  
と言つていた。土だつた場所がコンクリートになつてしまつたのだ。

又、ある子供は、

「こんな大きいバッタ、つかまえたぞー。」  
と言つたら、まわりにいた子供が、

「わあ、すごい。大きいノコ」と言つた。確かに大きかつたが、この辺ではあまりめずらしくないくらい大ききだつた。

みどりが少ないがために、バッタをとる機会も少なく、ふつうのバッタが大きくみえたのだ。そんな風にバッタをおいかけた場所もいつの間にかビルに変わつていった。

こんな風に、みどりがだんだんへつていつてかわいそうな子供もいる。子供だけじゃない。だれでもそうだ。みどりかへつて空気が悪くなり、病気になる人もいるのうれしいはずはない。

これから、どんな年月がたつにつれてみどりがへつていったら、と考えるととても心配だ。

みどりは、子供のあそび場だけに使われるのではない。空気も、自然かんきょうもよくなる。

だからみどりは、この地球の上の生物にとつてかけがえない大切な物だ。だからこれからも、みどりを大切にして、すばらしい世の中を作っていきたい。



### 自然観察会の風景

日時 平成元年5月28日(日)  
午後1時～午後3時  
場所 日野市南平8-8-3

南平丘陵公園

面積41,200㎡

公園内を散策して、樹林、野草を観察した。

# 秋の緑化月間行事

期 間：平成元年11月1日～11月30日

テーマ：まちに緑と清流を ぐらしに花とうるおいを

行 事 名	日 時	場 所	内 容
菊 花 展 示 会	11月1日～7日 午前9時～午後4時	本 庁 舎 前 市 民 プ ラ サ	1.配布苗菊花コンテスト 市民一般の部 老人クラブの部 小学校の部 市民の方々の出品を歓迎します。
	11月1日～30日 午前9時～午後4時	本 庁 舎 1 階 市 民 ホ ー ル	2.菊花展示 古典菊、大菊など 約100鉢子定
	11月4日(土) 午後2時～午後4時	本 庁 舎 前 市 民 プ ラ サ	市長賞・(財)日野市環境緑化協会理事長賞 ほか
家庭緑化の日	11月5日(日) 午前9時～午後3時	日野中央公園	1.球根配布……チューリップほか 午前9時から先着1,000名、午後1時から先着1,000名 2.風船配布……幼 児 対 象 午前9時から先着 200名、午後1時から先着 200名 3.花とみどりの健康相談……庭木、花卉、菊花 4.花卉・鉢物・肥料等の即売 5.図書販売 6.市民緑化用苗木配布……キンモクセイ、サツキほか午前11時から都市緑化見本園広場にて先着約200名
		沢 田 公 園	1.球根配布……チューリップほか 午前9時から先着500名、午後1時から先着500名 2.風船配布……幼 児 対 象 午前9時から先着 50名、午後1時から先着 50名
園 芸 講 座	11月29日(木) 午前10時～正午	湯沢福祉センター	正月の寄せ植え 2ヶ所 教材費 1,000円 参加人員 各々 60 名 (申込は往復はがきで、多数の時は抽選) (申込期間 11月1日～11月10日必着)
	11月29日(木) 午後2時～午後4時	中央福祉センター	講 師 武 井 完 雄
	11月17日(金) 午前10時～正午	市・緑化センター	庭木・生け垣の管理について 講師 日野緑進会 ※参加申込 電話で先着50名
自然観察会 (雨天中止)	11月19日(日) 午前10時～正午	多 摩 川 (日野駅集合)	バードウォッチング 日野駅～市民の森スポーツ公園～多摩川～日野駅(解散) ※参加申込 電話で先着50名
学 習 会	11月23日(金) 午前10時～正午	ふるさと博物館	ふるさと博物館の学習 説明者：博物館学芸員…展示してある土器を中心に説明を受ける ※参加申込 電話で先着50名 日野の古代について学習する
親子 炭 焼 き 教 室 (雨天決行)	11月26日(日) 午前10時～午後3時	南 平 丘 陵 公 園	萌芽更新材を活用して炭焼き教室をひらく 講師 岸本定吉 1.伏焼き 午前中に窯から炭を搬出し炭材を搬入する 講師 杉浦銀治 2.ドラムカン焼き 展示窯とする 午後炭の活用及び木酢液についての講話 講師 山田 嗣 3.移動窯 午後 芋煮会 指導員 山田 嗣 4.本 窯 ※参加申込 電話で先着50名
地 域 緑 化 清 掃 の 日	11月26日(日)(小雨決行) 午前9時～正午	学校・緑地・公園等	1.地域緑化(球根等植え付け) 2.清 掃 市内全域 (1)学 校 (2)公園 等
植 物 写 真 パ ネ ル 展	11月1日～30日 午前9時～午後4時	本 庁 舎 1 階 市 民 ホ ー ル	日野市内に自生する四季の植物 入賞作品 30点 (11月5日は、日野中央公園に移動する)

## 園芸講座・自然観察会に参加して

今回の園芸講座は田中先生の「薬草」とのこと。早速、老人クラブに呼びかけお仲間ができました。当日はさわやかな天候に恵まれ、先生のお講義振りは大変わかり易く、終始哄笑に包まれ、この緑蔭教室はせいとくなく楽しさでいっぱいでした。早速どくだみを摘んでお教え頂いた手順で煎じて飲んでおりますが、それまでの花粉症の様ないやな気分がすっかりとれ、うそのようにさっぱりしています。

### 薬草と聞く十薬の白十字

緑蔭で皆さんとお弁当を頂く頃から雷が鳴り出し雨も心配で、半数程の人だけが残る有様となりましたが、諸先生の御指導に従って尾根歩きや浅川の対岸を展望したり、くぬぎや、ならの雑木林を歩き、つり橋の小さなゆれに心躍らせ小学校の遠足さながらでございました。丘陵公園の炭焼き窯で木炭をつくり、清流をとり戻すとのこと、いろいろなお勉強と自然の大切さをお教え頂きました。有難うございました。

### 雷浴びて多摩横山に立ち昇る

梅村 知恵

五月二十八日、新設された南平丘陵公園で自然観察会が実施されました。二班にわかれて先生方にご指導いただきました。園内の樹木について一つ一つ樹皮や葉の特徴など類似の木と比較しながらのお話は大変勉強になりました。途中からあいにく雷雨になり後半は十分にお話が聞けず残念でした。

最後に炭焼き施設が紹介され、この炭焼き窯で萌芽更新材(これは樹木再生法の一つだそうです)を使って木炭を作り、それを市内の用水浄化に役立てるということで、自然の保護と水質や土壌の浄化改良に積極的に取り組む具体的なものであるという実感を持ちました。

自然をよく観察し、その有効な利用を追求することは地球の環境浄化の最重要課題であると思います。

森 清見



園芸講座

# お知らせコーナー

## ◎秋の緑化月間行事

### ▲菊花展示会

十一月一日～七日

本庁舎前市民プラザに展示

八月に市民に配布した菊苗を皆様が育てた成果を展示いたします。奮ってご参加ください。

### ▲古典菊展示会

十一月一日～三十日

本庁舎一階市民ホールに展示

### ▲園芸講座

正月の寄せ植え

十一月二十九日(木)

湯沢福祉センター

午前十時～正午

中央福祉センター

午後二時～四時

今回は二会場にわけて開きます。応募方法は往復ハガキで申し込み、抽選で参加者を決めさせていただきます。

参加人員は各々六十名です。

### ▲炭焼き教室

十一月二十六日(日)

午前十時～午後三時

南平丘陵公園

公園内の炭焼き窯で萌芽更新材を利用しての炭焼き教室です。窯の仕組み、薪から炭になる過程や炭の活用など。

参加人員は五十名です。

### ▲植物写真パネル展

十一月一日～三十日

本庁舎一階市民ホールに展示

市内に自生する四季の植物の写真展です。

なお作品の版權は協会に帰属し、優秀作品は絵ハガキとして協会が作成し、市民に利用していただきます。

## ◎春の苗木配布とアンケート集計結果報告

五月七日の苗木配布のとき皆様にご協力いただいたアンケートの集計結果

(一)苗木の配布をなにより知りませんでしたか。

一、市公報 二、知人 三、会報(緑のまち)

(二)どんな苗木を希望しますか。

一、梅 二、柿 三、実のなる木

(三)秋にはどんな球根を希望しますか。

一、チューリップ 二、水仙 三、クロッカス

(四)配布場所

今まで通りでよい

(事務局から)

春の家庭緑化の日の苗木(カリン)配布は、市民の利便性を考慮して、配布場所を日野中央公園と浅川南の沢田公園(平山小学校裏)の二ヶ所にしました。内容も苗木の配布だけではなく、参加した幼児を対象に風船と花の種子を添えて配りました。

当日は雨天にもかかわらず多

数の市民の皆様が参加されました。



苗木の配布

## 緑の羽根募金結果報告

本年度の緑の羽根募金運動は三月一日から五月三十一日までおこなわれました。おかげ様で前年度より十九万円余の増になりました。ご協力ありがとうございました。ご協力関係者のご努力にも深く感謝申し上げます。

### ▼募金総額 232万5千480円

### ▼内訳

自治会 50万1千563円

老人クラブ 15万9千820円

小中学校 2万9千270円

私立幼稚園・保育園 5万8千944円

団体・事業所 131万4千374円

市役所機関 16万6千792円

街頭募金 9万4千735円

この還元金は学校緑化・街路樹などの緑化事業に活用いたします。

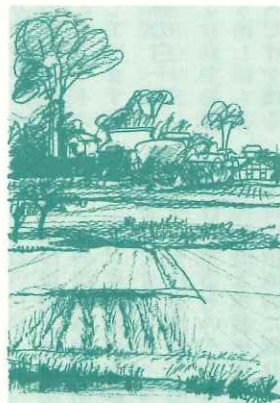


## 日野の水田

### 事務局

日野のダムがつぶれていく。日野の田圃は多摩川、浅川より持ち込まれた肥沃な土と水田開発の諸条件に恵まれたため、早くから水田耕作が盛んであった。昭和三十年代の水田面積は日野町は二四〇町歩(二三七万六千㎡)を有し、米の生産高六千石(約九百トン)を收穫していた。七生村は水田面積一五五町一反歩(一五三万五四九〇㎡)を有し、米の生産高三六六〇石(五四九〇トン)を收穫していた。都下随一の穀倉地帯といわれた所以である。

田圃は保水のため高さ三十cmぐらいの畔によって区切られている。多摩川沿いの田は多摩川の下堰、上堰の取水口から取水し、浅川沿いの田は浅川から川北、上村、平山、高幡、落川、豊田、上田、新井、向島堰などの取入口から取水している。地質は沖積層から植土、砂壤土で、耕土は約十～二十五cm程度の深さである。それ故保水が悪く地下浸透が多い。山谷溪谷を堰止めたダムは土砂で湖底が埋まり寿命が短い。日野の田圃は自然に恵まれた天然のダムである。しかし数千年続いたこの田圃も社会的変化と時節には勝てず一枚一枚つぶれていく。日野市は昭和三十三年に日野町と七生村が合併して日野町となり、その後宅地開発などにより水田が次第に減少している。昭和六十三年の水田面積は九六万四七二六㎡で、昭和三十年代と比べて約二九四万六千㎡の減になっている。



当時の田園風景

日野の穀倉地帯を後世に伝えるために、苗代、田おこし、田の草とり、稲刈り等の風景をせて写真に撮っておきたいものだ。

## 編集のあとに

今回は自然保護について小学生の作文を多くいただきました。学校の先生方のご協力を心から感謝いたします。自由帳欄を設けましたので投稿をお待ちしております。